

70 シリーズ筐体  
**70 SERIES**  
**Vbus-70B,71B,73B,74B**  
取扱説明書

必ずお読みください！

**ビデオトロン株式会社**

## この製品を安全にご使用いただくために



### 警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

#### 1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等からませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

#### 2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシナールームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

#### 3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシナールーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかると危険です。

#### 4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行くと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

## 5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
  - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
  - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
  - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
  - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
  - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



## 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

### 1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

### 2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

### 3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
- マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
  - ・フィルターが付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
- 通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
  - ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
  - ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

\*\*上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先.....ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail [cs@videotron.co.jp](mailto:cs@videotron.co.jp)

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 \*\* 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

\*\*携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目 次 .....

この製品を安全にご使用いただくために .....	1
1. 概 説 .....	1
《特 長》 .....	1
2. 構 成 .....	1
3. 各部の名称と働き .....	2
1. Vbus-71B, 74B .....	2
2. Vbus-70B, 73B .....	5
4. 据付とモジュール実装方法 .....	8
1. 据付方法 (Vbus-70B, 73B, 74B) .....	8
2. モジュールの実装方法 .....	8
3. Vbus-70B, 73B の電源ユニットの交換 .....	9
5. SNMP ボード .....	10
1. 概 説 .....	10
2. 接続 .....	10
3. PC の SNMP 設定 .....	10
4. MIB データーについて .....	12
5. 工場出荷時設定 .....	12
6. SNMP ボードの設定 .....	12
(1) Telnet を使って設定する方法 .....	12
(2) wSnmpTrap を使って設定する方法 .....	16
7. Vbus-70B 工場出荷時設定への戻し方 .....	17
6. 外部インターフェース .....	19
1. Vbus-70B, 73B .....	19
2. Vbus-71B, 74B .....	19
3. Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプション 外付け BOX .....	20
7. トラブルシューティング .....	21
8. 仕 様 .....	23
1. Vbus-70B .....	23
2. Vbus-71B .....	24
3. Vbus-73B .....	25
4. Vbus-74B .....	26
5. Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプション 外付け BOX .....	27

## 1. 概説

Vbus は 70 シリーズ用モジュールの実装筐体です。実装する機能や基板の枚数をシステムにあわせて Vbus-70B、71B、73B、74B の 4 種類の筐体から選択できます。この Vbus 筐体と 70 シリーズのモジュールを組み合わせることで、様々なシステムにあわせた対応が可能となります。

### 《特長》

- 70 シリーズのモジュールと組み合わせることができます。※1
- 実装できるモジュールの数量は以下の様になっています。
  - ・Vbus-70B…10
  - ・Vbus-71B…1
  - ・Vbus-73B…3
  - ・Vbus-74B…4
- SNMP に対応しています。(Vbus-70B、73B は標準対応、他の Vbus はオプションで対応)
- Vbus-70B、73B は電源の二重化に対応できます。

※1 同一筐体内に、コントローラ系モジュール(TLG-70C、VT-70C、及び SHC-70B-E、ADC-70SD-E、FS-70B、DAC-70A-A 等のリファレンス信号分配機能を使用した時)を複数いれないでください。同期をマスターに設定できるモジュールは筐体内に1モジュールだけです。複数マスターに設定された場合、内部で同期信号が衝突し出力映像が乱れることがあります。

## 2. 構成

筐体は、以下の構成になっています。

開梱後、付属品などが不足していないかお確かめください。万一、不足している品物がございましたら、お手数ですが当社製造技術部までご連絡ください。

※付属品が不足している状態でのご使用は避けてください。

### 【Vbus-70B, 71B, 73B, 74B 共通】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	筐体フレーム(本体)		1	
2	フロントパネル		1	
3	AC ケーブル		1(2)	標準は1本
4	ラックマウントビス		4	Vbus-71B 除く
5	取扱説明書		1	

### 【Vbus-70B】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	電源ユニット	Vbus-70-01	1(2)	標準は1台

### 【Vbus-73B】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	電源ユニット	Vbus-73-01	1(2)	標準は1台
2	KM-70HD/SD 用 75W 電源ユニット	Vbus-73B-03	(2)	オプション

### 【振動対策オプション】

番号	品名	型名・規格	記事
1	Vbus-70B 振動対策処理	Vbus-70B-02	
2	Vbus-71B 振動対策処理	Vbus-71B-02	
3	Vbus-73B 振動対策処理	Vbus-73B-02	
4	Vbus-74B 振動対策処理	Vbus-74B-02	

※各種 Vbus-B 筐体には、オプションとして振動対策処理を施すことができます。小型中継車等、振動が気になる場所に設置する時には、ご購入の際にオプション指定していただくと、モジュール挿入ガイドレールを振動対策版に交換し、出荷いたします。ご購入後の振動対策処理に関しましては、当社製造技術部までご連絡ください。

### 【SNMP オプション】

番号	品名	型名・規格	適応筐体
1	Vbus-SNMP-01 Vbus 用 SNMP ボード	Vbus-SNMP-01	Vbus-70DC、74H
2	Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプション	Vbus-SNMP-02	Vbus-71B、71BDC、74B、74BDC

※ご購入の際にオプション指定していただくと、SNMP ボードを筐体の実装し、出荷いたします。Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプションを指定していただいた際には、外付け BOX (TALLY コネクタ、LAN コネクタ付き) を同梱して出荷いたします。

ご購入後の SNMP 対応に関しましては、当社製造技術部までご連絡ください。

## 3. 各部の名称と働き

### 1. Vbus-71B, 74B

●筐体正面(フロントパネル付) 上:Vbus-71B

下:Vbus-74B

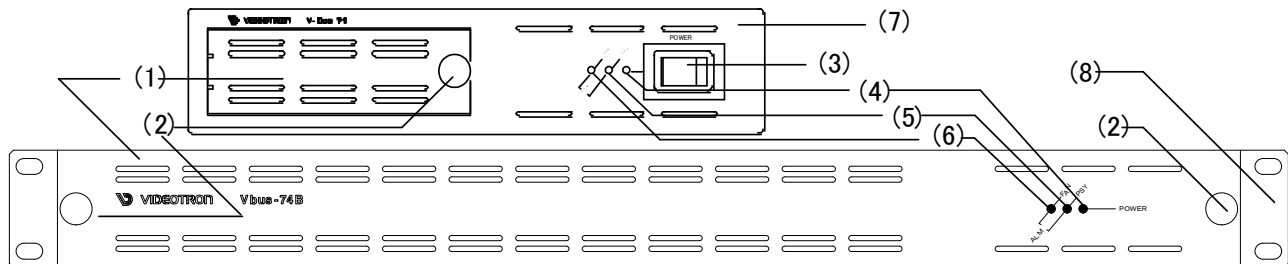


図 3-1 各部の名称(フロントパネル)

#### (1)フロントパネル

筐体のフロントパネルです。

ユニットの調整や動作を確認する場合は外してください。

#### (2)フロントパネル固定用ネジ

フロントパネルを固定します。フロントパネル使用の際は確実に固定の上ご使用ください。

#### (3)電源スイッチ

筐体の電源スイッチです。(Vbus-74B はカバー内にあります)

#### (4)POWER LED

筐体の電源が入ると緑色点灯します。

#### (5)PSY LED

電源のアラームランプです。内部に供給する電源電圧が規定値以下の時、橙色点滅します。

このアラームランプが点滅した場合、モジュールが動作不良を起こすことがあります。その際は弊社までご連絡ください。

(6)FAN LED

ファン回転のアラームランプです。ファンの回転数が規定を下回った場合に橙色点滅します。

(7)カバー (Vbus-71B のみ)

筐体のカバーです。

(8)ラック取り付け部分 (Vbus-74B のみ)

本筐体をラックに取り付ける際は、この部分を確実に固定してください。

●筐体正面 (フロントパネルを取り外した状態)

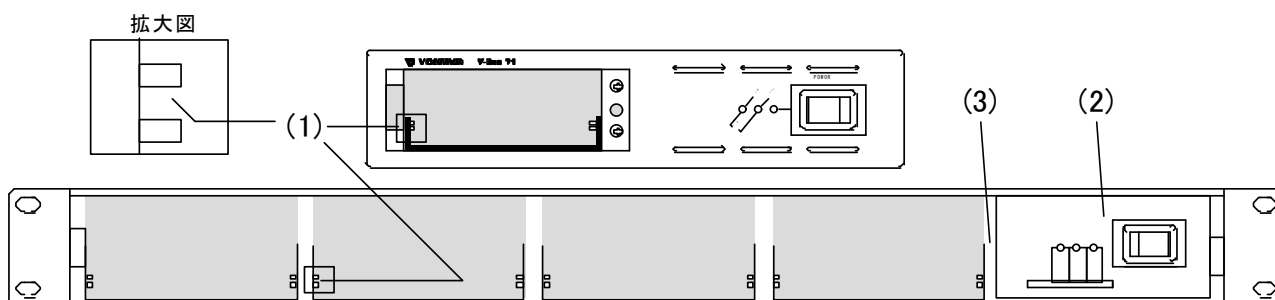


図 3-2 各部の名称 (フロントパネルを取り外した状態)

(1)メインモジュール用のスロット

メインモジュールの基板の部分がこの隙間に来るように挿入します。

(2)電源ユニット

筐体の電源ユニットです。(Vbus-71B はカバー内にあります)

(3)SNMP スロット

Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプションを挿入します。(Vbus-71B ではカバー内にあります)

●筐体背面 上:Vbus-71B

下:Vbus-74B

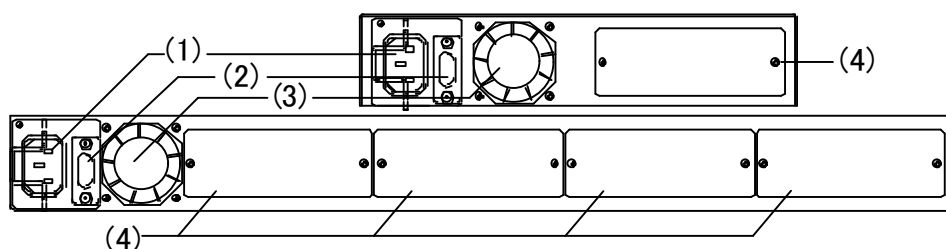


図 3-3 各部の名称 (筐体背面)

(1)三端子電源コネクタ

三端子の電源コネクタです。

(2)TALLY

筐体内のモジュール、または筐体の電源かファンに異常が発生した時、接点アラーム信号が出力されます。\*旧タイプの Vbus-70 シリーズの筐体では完全に電源を OFF にしてしまうと接点アラーム信号は出力されませんのでご注意ください。



また、Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプション装着時は、LAN コネクターと TALLY コネクターが付いた外付け BOX を接続します。

(3)ファン

機内冷却用のファンです。

(4)コネクターモジュール取り付け部

使用するメインモジュールにあわせてコネクターモジュールを取り付けます。

●Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプション 外付け BOX (Vbus-71B、Vbus-74B)

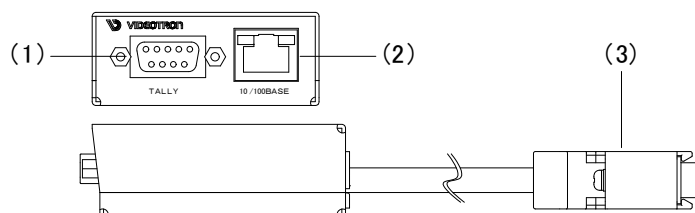


図 3-4 各部の名称

(1)TALLY

筐体内のモジュール、または筐体の電源かファンに異常が発生した時、接点アラーム信号が出力されます。\*\*旧タイプの Vbus-70 シリーズの筐体では完全に電源を OFF にしてしまうと接点アラーム信号は出力されませんのでご注意ください。

筐体背面の TALLY 信号を延長しており、コネクター形状が 15P から 9P に変更しております。

(2)LAN

SNMP で使用します。

(3)筐体接続用コネクター

筐体背面の TALLY コネクターに接続します。

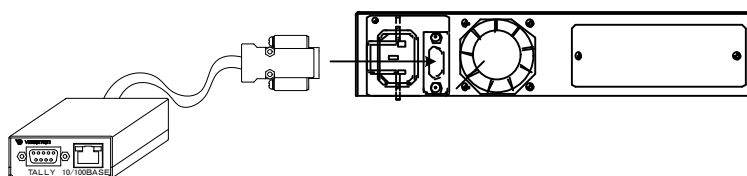


図 3-5 外付け BOX と Vbus-71B の接続

## 2. Vbus-70B, 73B

### ●筐体正面

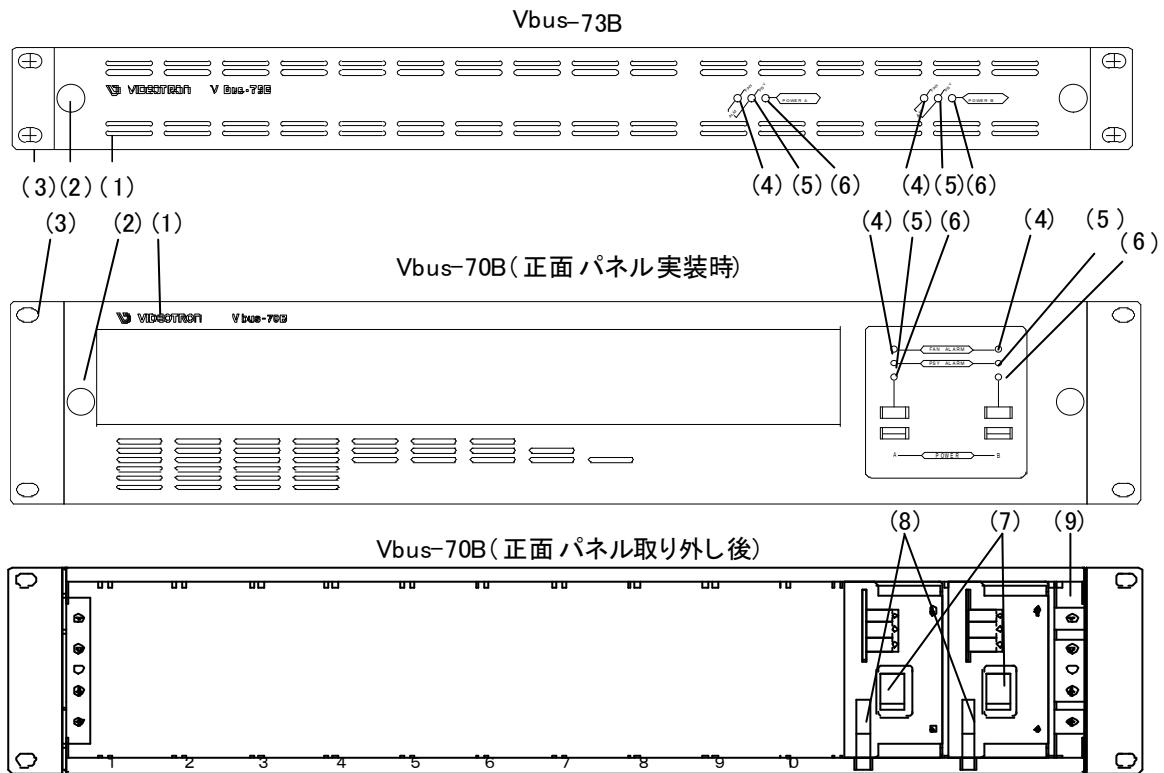


図 3-4 各部の名称(正面)

#### (1)フロントパネル

筐体のフロントパネルです。モジュールの調整や動作を確認する場合には外してください。

#### (2)フロントパネル固定用ネジ

フロントパネルを固定します。フロントパネル使用の際は確実に固定の上ご使用ください。

#### (3)ラック取り付け金具

ラックに取り付ける際はこの部分を確実にラックに固定してください。

#### (4)FAN LED

ファン回転のアラームランプです。ファンの回転数が規定を下回った場合に橙色点滅します。

#### (5)PSY LED

電源ユニット A、B に対応した電圧のアラームランプです。筐体に供給される電源電圧が規定値または電源スイッチを OFF にした時、橙色点滅します。

二重化電源でご使用される場合、どちらかの電源ユニットが電源断、または異常があった時点で点滅します。2 台の電源ユニットの電源供給がなくなった場合アラームランプは点灯しませんが、筐体背面の TALLY から接点アラーム信号が出力されます。2 台の電源ユニットを引き抜いた場合、接点アラーム信号は出力されません。

#### (6)POWER LED

電源ユニット A、B に対応した電源ランプです。筐体の電源スイッチを ON にすると緑色点灯します。

#### (7)電源スイッチ

電源ユニット A、B に対応した筐体の電源スイッチです。

#### (8)電源ユニットイジェクトレバー

電源ユニットを引き抜く際、このレバーを手前に倒します。

(9)SNMP スロット

Vbus-SNMP-01 Vbus 用 SNMP ボードを挿入します。(Vbus-73B ではカバー内にあります)

●筐体背面

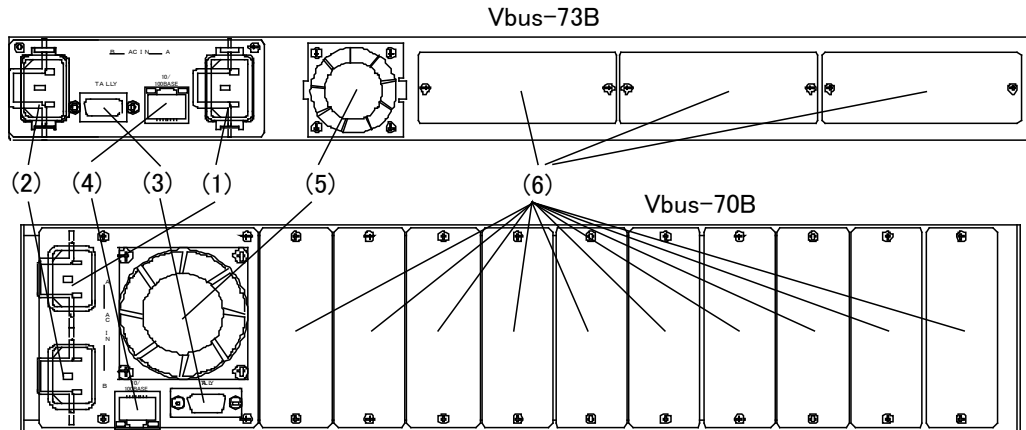


図 3-5 各部の名称(背面)

(1)三端子電源コネクタ

電源ユニット A で使用する三端子電源コネクタです。

(2)三端子電源コネクタ

電源ユニット B で使用する三端子電源コネクタです。

(3)TALLY

筐体内のモジュール、または筐体の電源かファンに異常が発生した時、接点アラーム信号が出力されます。※旧タイプの Vbus-70 シリーズの筐体では完全に電源を OFF にしてしまうと接点アラーム信号は出力されませんのでご注意ください。

(4)LAN

SNMP で使用します。

(5)ファン

筐体冷却用のファンです。ファン故障の際はファンユニット上部 2 本のビスを外し交換します。

(6)コネクタモジュール取り付け部

使用するメインモジュールにあわせてコネクタモジュールを取り付けます。

※同一筐体内に、コントローラ系モジュール(TLG-70C、VT-70C、及び SHC-70B-E、ADC-70SD-E、FS-70B、DAC-70A-A 等のリファレンス信号分配機能を使用した時)を複数いれないでください。同期をマスターに設定できるモジュールは筐体内に1モジュールだけです。複数マスターに設定された場合、内部で同期信号が衝突し出力映像が乱れることがあります。

●筐体正面(フロントパネルを取り外した状態)

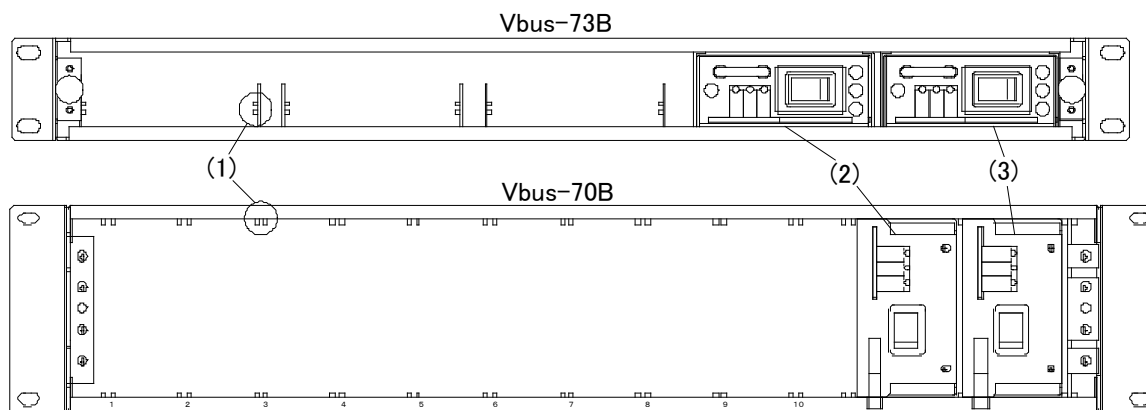


図 3-6 各部の名称(フロントパネル取り外し後)

(1)メインモジュール用のスロット

メインモジュールの基板の部分がこの隙間に来るように挿入します。

(2)SLOT A

筐体の電源ユニットのスロットです。電源を二重化しない場合、“SLOT A”をご使用ください。

(3)SLOT B

筐体の電源ユニットのスロットです。SLOT B の電源ユニットは冗長運転用のオプションです。

**注意！** 電源ユニットを 2 台使用する場合、常に両電源を通电した状態でご使用ください。

片方の電源が故障した際は、速やかに故障した電源の電源スイッチを切り、故障した電源モジュールを筐体から引き抜き、弊社までご連絡ください。

故障した電源、あるいは通电していない電源ユニットを筐体に挿入したままご使用になりますと、モジュールのホットスワップ時に出力映像が乱れることがあります。

## 4. 据付とモジュール実装方法

### 1. 据付方法 (Vbus-70B、73B、74B)

- (1) ラックに筐体を挿入します。
  - (2) 両サイドのラック取り付け部分をラック本体に固定します。
- ※ラックへの据付は確実に行ってください。

### 2. モジュールの実装方法

図 4-1 は Vbus-70B ですが、Vbus-71B、73B、74B も同じ手順です。

- (1) フロントパネルを外します。
  - ・フロントパネル固定用ネジ図 4-1 (1)を十分に緩め、正面パネルをゆっくり手前に引いてカバーを外します。

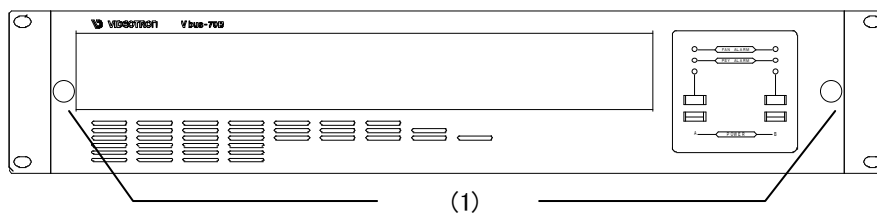


図 4-1 正面

- (2) 筐体の電源スイッチを OFF にします。安全のため電源ケーブルを抜きます。
- (3) コネクタモジュールを取り付けます。
  - ・コネクタモジュールを取り付けるスロットの図 4-2 (2)のネジを外し、ブランクカバーを外します。
  - ・コネクタモジュールのネジを締めて、筐体に固定します。

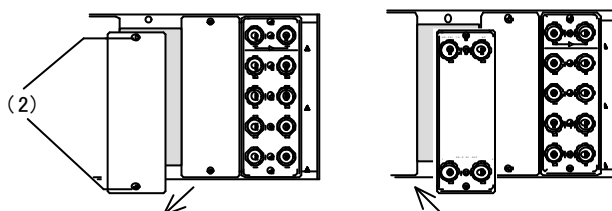


図 4-2 コネクタモジュールの取り付け

- (4) 筐体正面のスロット内部に異物がないことを確認しメインモジュールを挿入します。
  - ・図 4-3 (3)のスロットに、メインモジュールの基板を滑り込ませます。
  - ・メインモジュールの電源コネクタがスロット奥の電源コネクタに、またコネクタモジュールに接続される部分がコネクタモジュールに正確に収まるよう、まっすぐに挿入します。

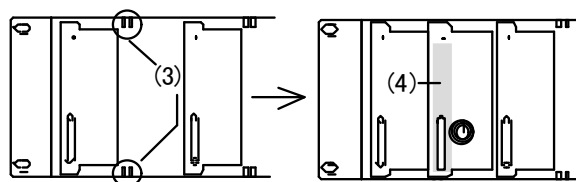


図 4-3 メインモジュールの挿入

- (5)奥までメインモジュールを押し込みます。  
・その際、図 4-3 (4)の辺り(正面パネルの左側)を押すようにしてください。
- (6)フロントパネルを取り付けます。  
・モジュールがしっかり固定されたら、フロントパネルを手前よりまっすぐ取り付け、ネジを確実に締めて完了です。

### 3.Vbus-70B、73B の電源ユニットの交換

電源ユニットに異常が生じた場合の対処方法です。図 4-4 は Vbus-70B ですが、Vbus-73B も同じ手順です。当社から交換用のユニット(2台)が届くまでは、異常が生じた側の電源を切り、本体から取り外してください。1台のユニットで長時間耐えられます。電源交換を行う際は、下記の方法に従い 2 台の電源交換を行ってください。

- (1)24 時間運転を行っている場合。
- 1)故障した電源ユニットを A、もう一方の故障していない電源ユニットを B とします。
  - 2)正面の蓋を開け、故障した電源ユニット A の電源スイッチを OFF にして、電源ユニット A を引き抜きます。
  - 3)新しい電源ユニットのスイッチが OFF であることを確認し、筐体を実装し、電源を投入します。
  - 4)もう一方の電源ユニット B の電源スイッチを OFF にし、電源ユニット B を引き抜きます。
  - 5)新しい電源ユニットのスイッチが OFF になっていることを確認して筐体を実装し、電源を投入します。
  - 6)実装されているモジュールの動作に問題ないことを確認し、蓋を閉めます。
- (2)24 時間運転を行っていない場合。(必要に応じて電源をその都度入れてご使用されている場合。)
- 1)正面の蓋を開け、電源ユニット A,B の電源スイッチを 2 台とも OFF にして、電源ユニット A,B を引き抜きます。
  - 2)新しい電源ユニットのスイッチが 2 台とも OFF になっていることを確認してから筐体を実装し、電源を投入します。
  - 3)実装されているモジュールの動作に問題ないことを確認し、蓋を閉めます。

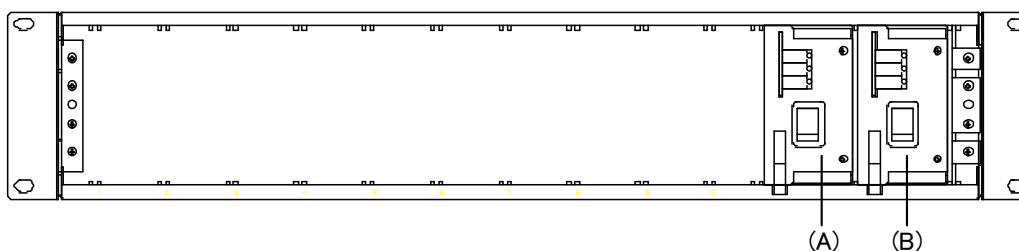


図 4-4 電源の交換手順

## 5. SNMP ボード

### 1. 概説

SNMP ボードは筐体内の各 70 モジュールの状態を監視し、マネージャーからの要求で管理情報(MIB)を送ることができます。また、各 70 モジュールの状態変化を捉え、マネージャーへトラップを発行することもできます。

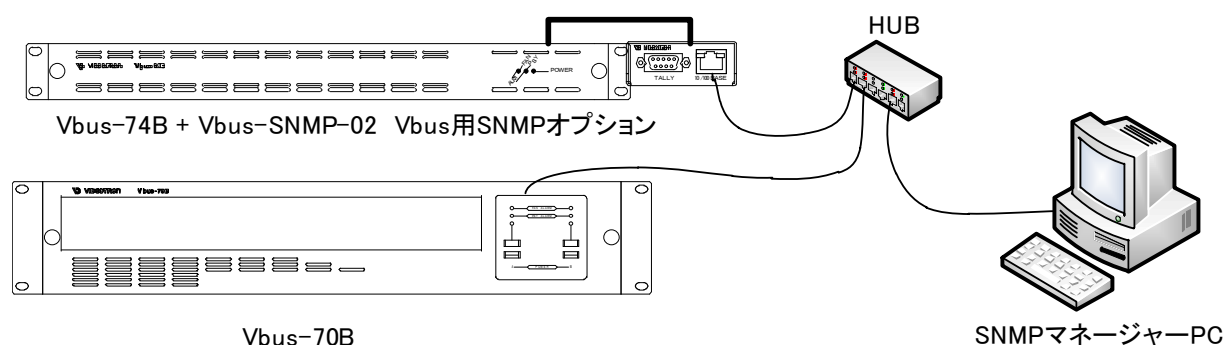
SNMP ボードは、100ms 周期で筐体内の各 70 モジュールの状態を取得しています。

Vbus-70B および Vbus-73B には標準で SNMP ボード(Vbus-SNMP-01)を実装しております。

他の Vbus 筐体は、以下の SNMP ボード・オプションが必要です。

筐体	型名	品名
Vbus-70DC、74H	Vbus-SNMP-01	Vbus-SNMP-01 Vbus 用 SNMP ボード
Vbus-71B、71BDC、74B、74BDC	Vbus-SNMP-02	Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプション

### 2. 接続



### 3. PC の SNMP 設定

#### 1. ドライバーの追加

##### Windows 2000 の場合

コントロールパネル→プログラムの追加と削除→Windows コンポーネントの追加と削除の管理とモニター ツールをチェックし詳細ボタンを押します。

管理とモニター ツールの詳細が表示されたら「簡易ネットワーク管理プロトコル」をチェックし「OK」ボタンを押します。

##### Windows XP の場合

コントロールパネル→プログラムの追加と削除→Windows コンポーネントの追加と削除の管理とモニター ツールをチェックし詳細ボタンを押します。

「WMI SNMP プロバイダ」および「ネットワーク管理プロトコル(SNMP)」をチェックし「OK」ボタンを押します。

##### Windows Vista の場合

コントロールパネル→プログラムと機能→Windows の機能の有効化または無効化の中にある「SNMP の機能」をチェックしてください。

##### Windows 7 の場合

コントロールパネル→プログラムと機能→Windows の機能の有効化または無効化の中にある「簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)」をチェックしてください。

インストールする際、Windows の CD-ROM が必要になります。

インストールが完了したら再起動をしてください。

## 2.サービスの開始

コントロールパネル→管理ツール→サービスの[SNMP Service]と[SNMP Trap Service]が「開始」状態にあるか確認します。

「開始」になっていない場合は手動で「開始」させます。

この作業は Windows2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 共通です。

## 3. ファイヤーウォールの設定

Windows XP の場合、ファイヤーウォールの設定を行わないと SNMP が使用できません。

Windows ファイヤーウォールの例外タブでポートの追加を押し、

1.名前[snmp], ポート番号[161], UDP

2.名前[trap] ポート番号[162], UDP

上の 2 つを登録します。

## 4. SnmpMonitor、wSnmpTrap の入手

SnmpMonitor と wSnmpTrap を使用することで MIB データの取得、トラップの受信を行うことができます。

SnmpMonitor、wSnmpTrap はフリーウェアです。下記サイトにてダウンロードすることができます。

また、ダウンロードやサイトの閲覧の際には、PC のファイヤーウォール設定やウイルスソフトなどで高度なセキュリティを保ちインターネットへ接続してください。

SnmpMonitor

<http://milu2006.hp.infoseek.co.jp/>

wSnmpTrap

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA031427/wsnmp/index.htm>

SnmpMonitor、wSnmpTrap の取り扱いの詳細については上記サイト、又は各アプリケーションのヘルプを参照してください。

## 5.動作確認

筐体背面の LAN コネクタに LAN ケーブルを接続し、SnmpMonitor を起動します。

エージェントの IP アドレスに、SNMP ボードの IP アドレスを入力。Community は Read Community、Write Community 共に VIDEOTRON(工場出荷時設定)と入力し OK を押す。

メニュー一覧が表示されたら MIB ツリーを開き、ツールバーの MIB を選択します。

MIB 定義ツリーが表示されるので、iso → org → dod → internet → private の enterprises を MIB ツリーウィンドウの左側へドラッグしてください。

筐体の電源や筐体の実装している 70 モジュールのステータスが表示されることを確認してください。

筐体背面の LAN コネクタに LAN ケーブルを接続し、wSnmpTrap を起動します。

wSnmpTrap を起動し[ツール]から[トラップ受信サービス開始]を選択します。

トラップ受信サービス実行中にモジュールの設定を変更し、Trap が送信されることを確認してください。



#### 4. MIB データーについて

SNMP ボードや他の 70 モジュールの MIB データー資料が必要な場合は、当社製造技術部までご連絡ください。

#### 5. 工場出荷時設定

SNMP ボードの工場出荷時設定は下記のとおりです。

IP アドレス	192.168.1.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.0	
マネージャーIP	192.168.1.25	
コミュニティ	VIDEOTRON	※ 半角英数字で最大 63 文字です。

UDP サーバー側ポート番号 9010

UDP クライアント側ポート番号 9011

#### 6. SNMP ボードの設定

SNMP ボードの設定は、Telnet で設定する方法とwSnmTrap で設定する方法があります。

△は半角スペースです。

##### (1) Telnet を使って設定する方法

コマンドプロンプトを立ち上げて以下のコマンドを入力します。

telnet△192.168.1.1 (注意 :工場出荷時の IP アドレスです。)

ウィンドウが切り替わり、以下のログインネームとパスワードを入力します。

login: user

Password :12345

Telnet では以下のコマンドが使用できます。

項番	コマンド	機能
1	setip	IP アドレスの設定と参照
2	setgate	ゲートウェイアドレスの設定と参照
3	setmask	サブネットマスクの設定と参照
4	setmip	マネージャーIP の設定と参照
5	setcmt	コミュニティの設定と参照
6	setups	サーバー側 UDP ポート番号の設定と参照
7	setupc	PC クライアント側 UDP ポート番号の設定と参照
8	wd	年月日の設定
9	rd	年月日の参照
10	wt	時分秒の設定
11	rt	時分秒の参照
12	lf	ログデータのフラッシュ
13	echo	エコー機能の設定
14	reset	再起動および設定内容の保存
15	ver	バージョン情報の表示
16	help	コマンドの簡易説明の表示

#### 1) setip

##### IP アドレスの設定と参照

[例] 現在の IP アドレスを参照します。

入力: setip

表示: IP address : 192:168:128:1

[例] IP アドレスを 192.168.128.1 と設定します。

入力: setip△192△168△128△1

表示: IP. [192:168:128:1]

#### 2) setgate

##### ゲートウェイアドレスの設定と参照

[例] 現在のゲートウェイアドレスを参照します。

入力: setgate

表示: Gateway : 192:168:128:30

[例] ゲートウェイアドレスを 192.168.128.30 と設定します。

入力: setgate△192△168△128△30

表示: Gateway. [192:168:128:30]

#### 3) setmask

##### サブネットマスクの設定と参照

[例] 現在のサブネットマスクを参照します。

入力: setmask

表示: SubNetMask : 255:255:255:0

[例] サブネットマスクを 255.255.255.0 と設定します。

入力: setmask△255△255△255△0

表示: SubNetMask. [255:255:255:0]

#### 4) setmip

##### マネージャーIP アドレスの設定と参照

[例] 現在のマネージャーIP アドレスを参照します。

入力: setmip

表示: PC address : 192:168:128:10

[例] マネージャーIP アドレスを 192.168.128.10 と設定します。

入力: setmip△192△168△128△10

表示: Manager IP. [192:168:128:10]

#### 5) setcmtty

##### コミュニティ名の設定と参照

[例] 現在のコミュニティ名を参照します。

入力: setcmtty

表示: Community Name : VIDEOTRON

[例] コミュニティ名を VIDEOTRON と設定します。

入力: setcmtty△VIDEOTRON

表示: Community Name. [VIDEOTRON]

※コミュニティ名は最大 63 文字の英数で大文字、小文字を区別しています。

## 6) setups

UDP 通信でサーバー側ポート番号の設定と参照  
TG-70V、MV-70J などで使用します。

[例] 現在の UDP ポート番号を参照します。

入力: setups

表示: UDPMV Port Server : 9010

[例] UDP ポート番号を 9010 と設定します。

入力: setups△9010

表示: ---

## 7) setupc

UDP 通信で PC クライアント側ポート番号の設定と参照  
TG-70V、MV-70J などで使用します。

[例] 現在の UDP ポート番号を参照します。

入力: setupc

出力: UDPMV Port Client : 9011

[例] ポート番号を 9011 と設定します。

入力: setupc△9011

出力: ---

## 8) wd

日付(年月日)の設定

[例] 日付を 2010 年 6 月 1 日に設定します。

入力: wd△2010△6△1

表示: ---

## 9) rd

日付(年月日)の参照

[例] 現在の日付を参照します。

入力: rd

表示: 2010/06/01 (Tue)

現在の年月日を表示します。

## 10) wt

時刻(時分秒)の設定

[例] 時刻を 9 時 10 分 11 秒 に設定します。

入力: wt△9△10△11

表示: ---

## 11) rt

時刻(時分秒)の参照

[例] 現在の時刻を参照します。

入力: rt

表示: 09:10:11

現在の時刻を表示します。

## 12) If

メンテナンス用のコマンドです。

メモリに残っているログデータを A ドライブのファイル(snmvb0.dat)に書き出します。

[例] ログデータをフラッシュします。

入力: If

表示: ---

残りのログデータを A ドライブのファイル(snmvb0.dat)に書き出します。

## 13) echo

エコーの ON/OFF 設定

[例] Echo ON の時に

echo

と入力すると

Echo Off

と表示され、エコー機能が OFF になります。

Echo OFF の時は

Echo On

と表示され、エコー機能が ON になります。

入力した文字が 2 重に表示されてしまう場合はエコーの設定を行ってください。

## 14) reset

再起動および設定内容の保存

IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、マネージャーIP を設定した場合、設定後に必ず reset と入力し、SNMP ボードを再起動させて設定を保存してください。

設定を完了させるまで約1分かかります。

その間コマンドプロンプトを操作することはできません。

## 15) ver

バージョンの情報の表示

入力: ver

表示: Project Name : SNMVB  
Vender Code : VIDEOTRON Corp.  
Version Information: 01.07.00 R03  
Birthday : 2008/09/05 FRI Build-00:00:00

## 16) help

コマンドの簡易説明の表示

[例]

入力: Help

表示: 各コマンドとコマンドの簡易説明が表示されます。

## Telnet を終了する

bye と入力し、エンターを 2 回押します。

ホストとの接続が切断されました。

と表示され、Telnet が終了します。

## (2) wSnmpTrap を使って設定する方法

### IP の設定

- 1.wSnmpTrap を起動し[ツール]から[トラップ受信サービス開始]を選択します。
  - 2.トラップ受信サービス実行中になったら、[ツール]から[SNMP SET]を選択し、SNMP SET リクエストを開きます。
  - 3.SNMP SET リクエストに設定したい IP を入力してください。
- IP を設定する際には OID を「～31.5.0」と入力してください。

ターゲットデバイス	SNMP ボードに設定されている IP アドレスを入力（デフォルト:192.168.1.1）。
コミュニティ文字列(書き込み)	SNMP ボードに設定されているコミュニティ文字列を入力(デフォルト:VIDEOTRON)
OID	1.3.6.1.4.1.20120.31.5.0
文法	32 ビット IP アドレス
値	SNMP ボードに設定したい IP アドレスを入力(例 :192.168.1.2)

- ※ IP アドレスは初期化することが出来ません。設定した IP を忘れないようメモを残すなど注意してください。  
万が一 IP アドレスを忘れてしまった場合は、弊社工場にて IP を再設定する必要があります、  
その際は弊社製造技術部までご連絡ください。

### マネージャーIP の設定

- IP 設定と同じ手順で SNMP SET リクエストを開きます。  
マネージャーIP を設定する際には OID を「～31.4.0」と入力してください。

ターゲットデバイス	SNMP ボードに設定されている IP アドレスを入力（デフォルト:192.168.1.1）。
コミュニティ文字列(書き込み)	SNMP ボードに設定されているコミュニティ文字列を入力(デフォルト:VIDEOTRON)
OID	1.3.6.1.4.1.20120.31.4.0
文法	32 ビット IP アドレス
値	SNMP ボードに設定したいマネージャーIP アドレスを入力(例 :192.168.1.26)

### 日付の設定

- IP 設定と同じ手順で SNMP SET リクエストを開きます。  
日付を設定する際には OID を「～31.1001.0」と入力してください。

ターゲットデバイス	SNMP ボードに設定されている IP アドレスを入力（デフォルト:192.168.1.1）。
コミュニティ文字列(書き込み)	SNMP ボードに設定されているコミュニティ文字列を入力(デフォルト:VIDEOTRON)
OID	1.3.6.1.4.1.20120.31.1001.0
文法	32 ビット 符号付 INT
値	設定したい日付を入力 ※

- ※ 日付を設定する場合以下のようなフォーマットで入力してください

### 日付の入力フォーマットについて

- 2008/01/02 と入力したい場合まず 16 進で表します。0x08010200(08=年 01=月 02=日 00=曜日)  
曜日は年月日から計算で割り出しているので常に 00 にしてください。  
次に 16 進で表した値を 10 進に変換します。0x08010200 → 134283776  
10 進に変換した値を SNMP SET リクエストの「値」に入力してください。

## 時刻の設定

IP 設定と同じ手順で SNMP SET リクエストを開きます。

時刻を設定するには OID を「~31.1002.0」と入力してください。

ターゲットデバイス	SNMP ボードに設定されている IP アドレスを入力 (デフォルト:192.168.1.1)。
コミュニティ文字列(書き込み)	SNMP ボードに設定されているコミュニティ文字列を入力(デフォルト:VIDEOTRON)
OID	1.3.6.1.4.1.20120.31.1002.0
文法	32 ビット 符号付 INT
値	設定したい時刻を入力 ※

※ 時刻を設定する場合以下のようなフォーマットで入力してください

### 時刻の入力フォーマットについて

1 時 2 分 3 秒と入力したい場合まず 16 進で表します。0x01020300(01=時 02=分 03=秒 00=ms)

次に 16 進で表した値を 10 進に変換します。0x01020300 → 16909056

10 進に変換した値を SNMP SET リクエストの「値」に入力してください。

## 7. Vbus-70B 工場出荷時設定への戻し方

Vbus-71B、73B、74B の SNMP ボードは筐体カバー内に実装しております。

工場出荷時設定へ戻される際は、弊社製造技術部までお問い合わせください。

(1) フロントパネルを外します。

・フロントパネル固定用ネジ図 5-1 (1)を十分に緩め、正面パネルをゆっくり手前に引いてカバーを外します。

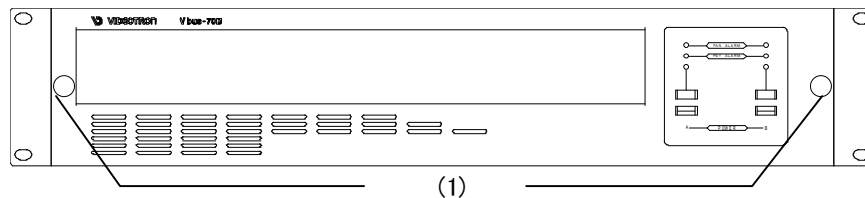


図 5-1 正面

(2) 筐体(図 5-2 (2))の電源スイッチを OFF にします。安全のため電源ケーブルを抜きます。

(3) SNMP ボードを取り外します。

・SNMP ボード固定用ネジ 2 箇所(図 5-2 (3))をプラス・ドライバーで緩め、外します。外したネジはなくさぬよう保管してください。

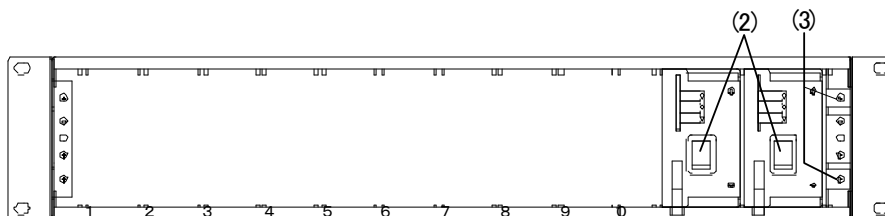
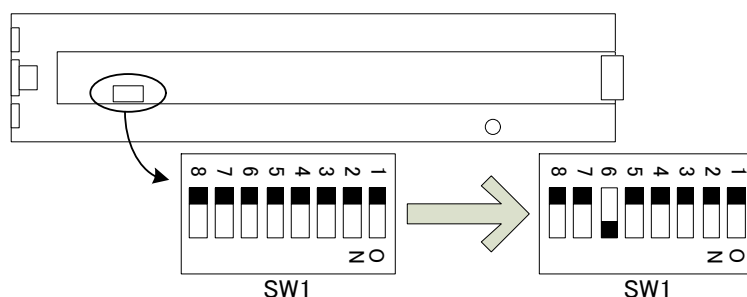


図5-2 正面パネル取り外し後

・ネジを外したら、SNMP ボードを引き抜きます。抜きにくい場合は、隣の電源ユニットを一旦外します。

(4) DIP SW を「工場出荷時設定」に設定します。

- ・SW1 #6 を「ON」側にスライドします。 #6 以外の SW 変更は行わないでください。



(5) SNMP ボードを挿入します。

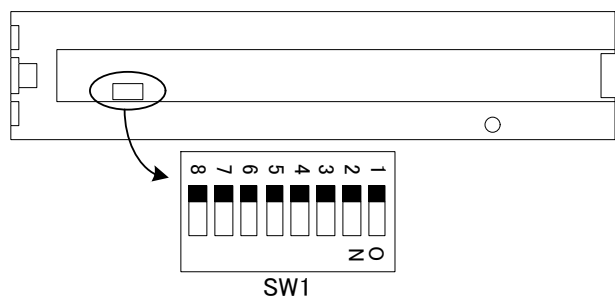
- ・SNMP ボードのコネクターがスロット奥のコネクターに正確に収まるよう、まっすぐに挿入します。
- ・安全のため、SNMP ボード固定用ネジ 2 箇所 (図 5-2 (3)) をプラス・ドライバーで締め付けます。

(6) 電源ケーブルを筐体に接続し、筐体 (図 5-2 (2)) の電源スイッチを ON にします。

- ・およそ 1 分が経過すると初期設定 (工場出荷時設定) が完了します。

(7) DIP SW の「工場出荷時設定」を解除します。

- ・「工場出荷時設定」のままですと、電源を投入する毎に工場出荷時設定へ戻り、システムに合わせた諸設定値が初期化されてしまいます。
- ・筐体 (図 5-2 (2)) の電源スイッチを OFF にします。安全のため電源ケーブルを抜きます。
- ・(3)の要領で SNMP ボードを外します。
- ・SW1 #6 を「OFF」側にスライドします。 #6 以外も必ず「OFF」側に設定してください。



- ・(5)の要領で SNMP ボードを挿入します。

(8) 電源ケーブルを筐体に接続し、筐体 (図 5-2 (2)) の電源スイッチを ON にします。

(9) フロントパネルを取り付けます。

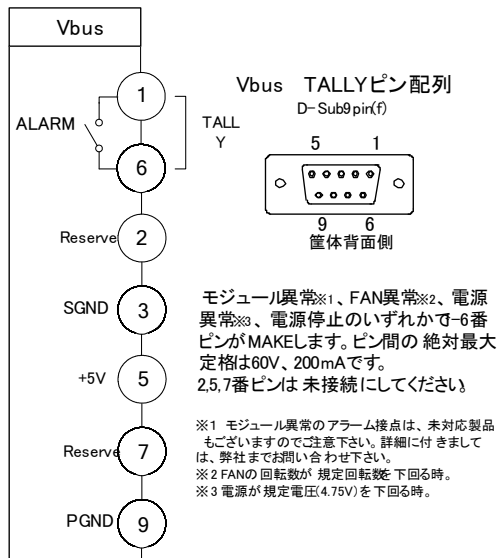
- ・フロントパネルを手前よりまっすぐ取り付け、フロントパネル固定用ネジを確実に締めます。
- ・以上で SNMP ボードの工場出荷時設定が完了です。

SNMP ボードの工場出荷時設定は下記のとおりです。

IP アドレス	192. 168. 1. 1	
サブネットマスク	255. 255. 255. 0	
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 1. 0	
マネージャーIP	192. 168. 1. 25	
コミュニティ	VIDEOTRON	※ 半角英数字で最大 63 文字です。
UDP サーバー側ポート番号	9010	
UDP クライアント側ポート番号	9011	

## 6. 外部インターフェース

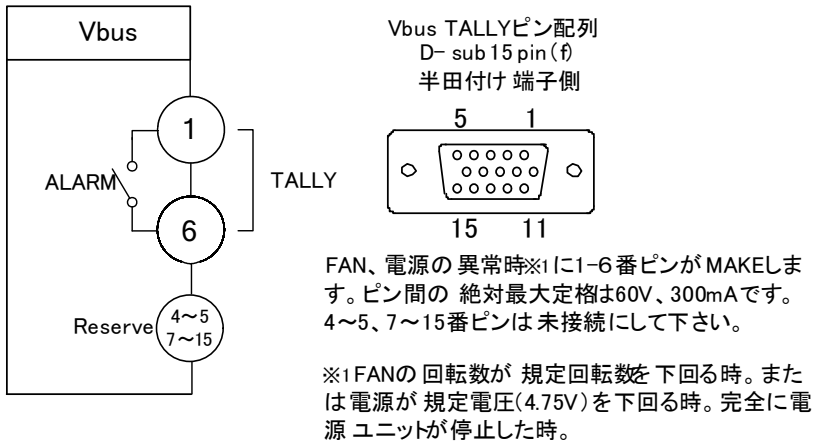
### 1. Vbus-70B、73B



- 1) ケーブル用適合コネクタ 型番: HDEB-9P (メーカー: HIROSE)  
 ケーブル用適合コネクタカバー 型番: 17JE-09H-1C (メーカー: DDK)  
 注) 必ず上記の指定されたコネクタ、カバーを使用してください。

2) 100/10BASE : SNMP で使用します。

### 2. Vbus-71B、74B

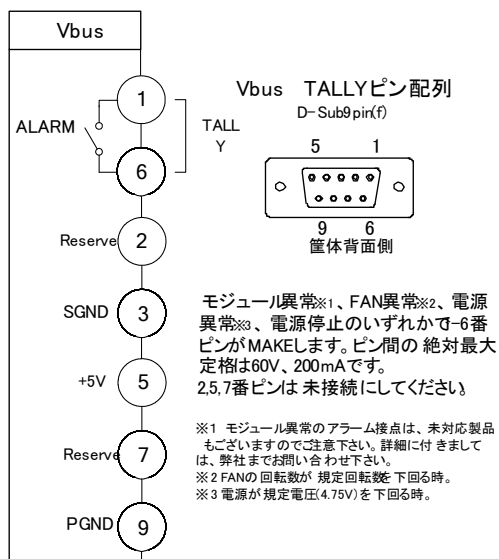


- 1) ケーブル用適合コネクタ 型番: D02-M15PG-N-F0 (メーカー: JAE)  
 ケーブル用適合コネクタコンタクト 型番: D02-22-26P-PKG100 (メーカー: JAE)  
 ケーブル用適合コネクタカバー 型番: 17JE-09H-1C (メーカー: DDK)  
 注) 必ず上記の指定されたコネクタ、コンタクト、カバーを使用してください。

2) Reserved ピンは未接続にしてください。



### 3. Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプション 外付け BOX



- 1) ケーブル用適合コネクタ 型番: HDEB-9P (メーカー: HIROSE)  
 ケーブル用適合コネクタカバー 型番: 17JE-09H-1C (メーカー: DDK)  
 注) 必ず上記の指定されたコネクタ、カバーを使用してください。

2) 100/10BASE : SNMP で使用します。

## 7. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。  
(文中の→は対処方法を示しています)

**現象** メインモジュールが挿入できない！

**原因**

- ・筐体内に異物はありませんか？
- ・挿入位置が間違っていないですか？
- ・背面のコネクターモジュールは、正確な位置に、確実に固定されていますか？
- ・筐体のフレームがゆがんでいませんか？

**現象** 電源が入らない！

**原因**

- ・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？
- ・筐体の電源ケーブルは確実に接続されていますか？
- ・正面の PSY LED は点灯していませんか？

→PSY LED が点滅している場合、筐体のつながっているシステムの電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、確実な電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

**現象** POWER LED(電源ランプ)がつかない！

**原因**

- ・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？
- ・電源ユニットは確実に筐体に差し込まれていますか？

**現象** ファンアラーム、FAN LED が消えない！

**原因**

- ・ファンに埃などが付着していませんか？

→電源を OFF して、ファンの清掃を行ってください。

清掃後も点滅している場合は当社製造技術部までご連絡ください。

**現象** PSY アラームが消えない！

**原因**

- ・電源は確実ですか？

→筐体のつながっているシステムの電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、確実な電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

**現象** 挿入したメインモジュールが正確に動かない！

**原因**

- ・ユニットは正確に挿入されていますか？
- ・背面のコネクターモジュールは、正確な位置に、確実に固定されていますか？
- ・メインモジュール、コネクターモジュールの組み合わせは正確ですか？

**現象** メインモジュールを取り出すことができない！

**原因**

- ・左右のメインモジュールは正確に取り付けられていますか？
- ・筐体のフレームなどがゆがんでいませんか？

※1 同一筐体内に、コントローラ系モジュール(TLG-70C、VT-70C、及び SHC-70B-E、ADC-70SD-E、FS-70B、DAC-70A-A 等のリファレンス信号分配機能を使用した時)を複数いれないでください。同期をマスターに設定できるモジュールは筐体内に 1 モジュールだけです。複数マスターに設定された場合、内部で同期信号が衝突し出力映像が乱れることがあります

**現象** Trap が来ない！（SNMP）

**原因**

- ・LAN ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・監視用 PC にドライバはインストールされていますか？  
→「5.SNMP ボード」の「3. PC の SNMP 設定」「1.ドライバの追加」を参照しドライバのインストールを行ってください。
- ・監視用 PC の SNMP Trap Service は「開始」状態になっていますか？  
→「5.SNMP ボード」の「3. PC の SNMP 設定」「2.サービスの開始」を参照し SNMP Trap Service を「開始」状態にしてください。
- ・SNMP ボードのマネージャーIP は正しく設定されていますか？  
→「5.SNMP ボード」の「6. SNMP ボードの設定」「マネージャーIP の設定と参照」を参照しマネージャーIP を設定してください。

**現象** 管理情報が受け取れない！（SNMP）

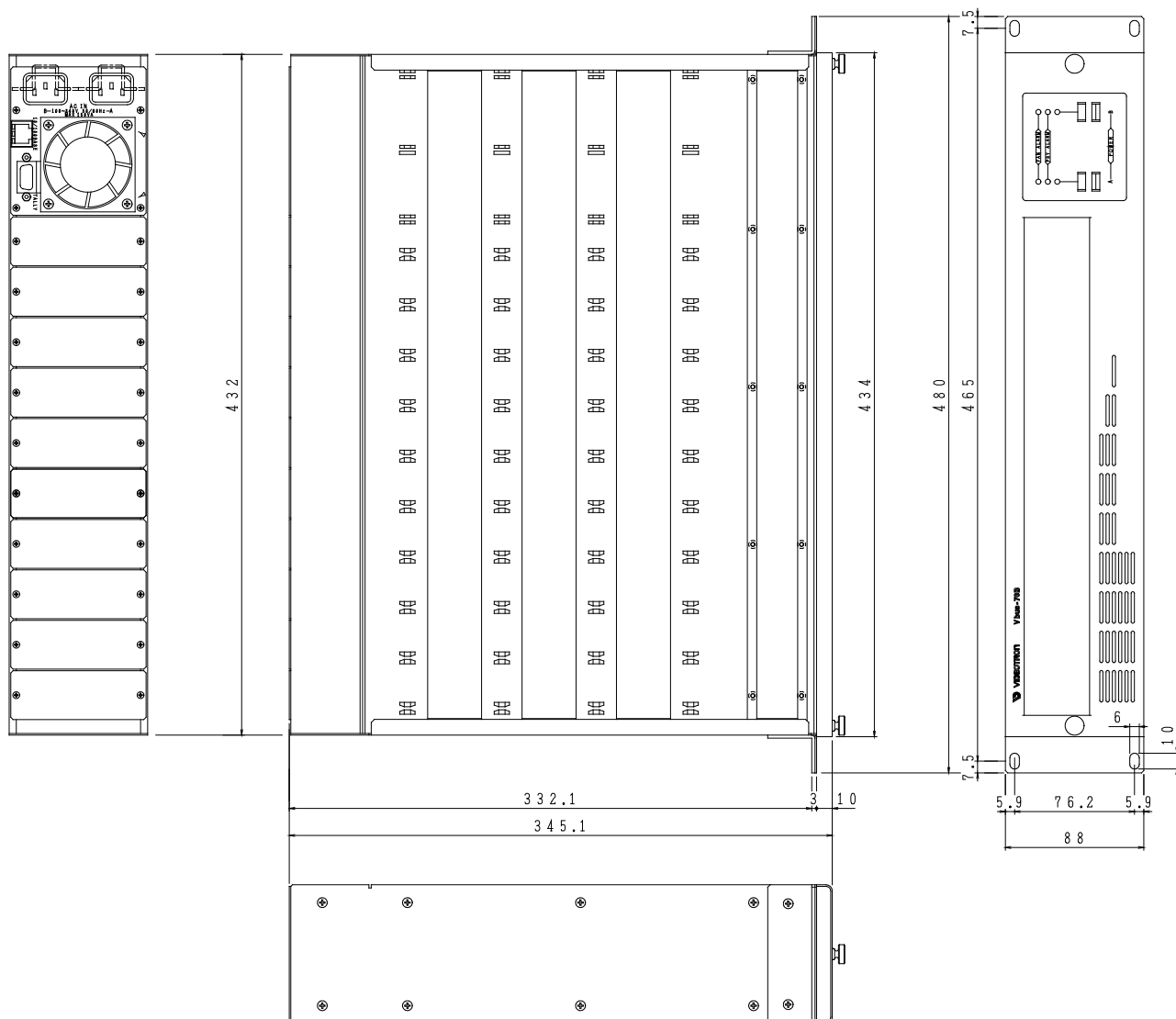
**原因**

- ・LAN ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・監視用 PC にドライバはインストールされていますか？  
→「5.SNMP ボード」の「3. PC の SNMP 設定」「1.ドライバの追加」を参照しドライバのインストールを行ってください。
- ・監視用 PC の SNMP Service は「開始」状態になっていますか？  
→「5.SNMP ボード」の「3. PC の SNMP 設定」「2.サービスの開始」を参照し SNMP Service を「開始」状態にしてください。
- ・エージェントIP は正しく設定されていますか？  
→工場出荷時のエージェント IP は[192.168.1.1]です。  
→IP アドレスなど設定値を工場出荷時設定へ戻し、システムに合わせた値に再設定してください。  
「5.SNMP ボード」の「7. Vbus-70B 工場出荷時設定への戻し方」を参照してください。  
IP アドレスなど設定を変更した際は、メモなどに残すようお願いします。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

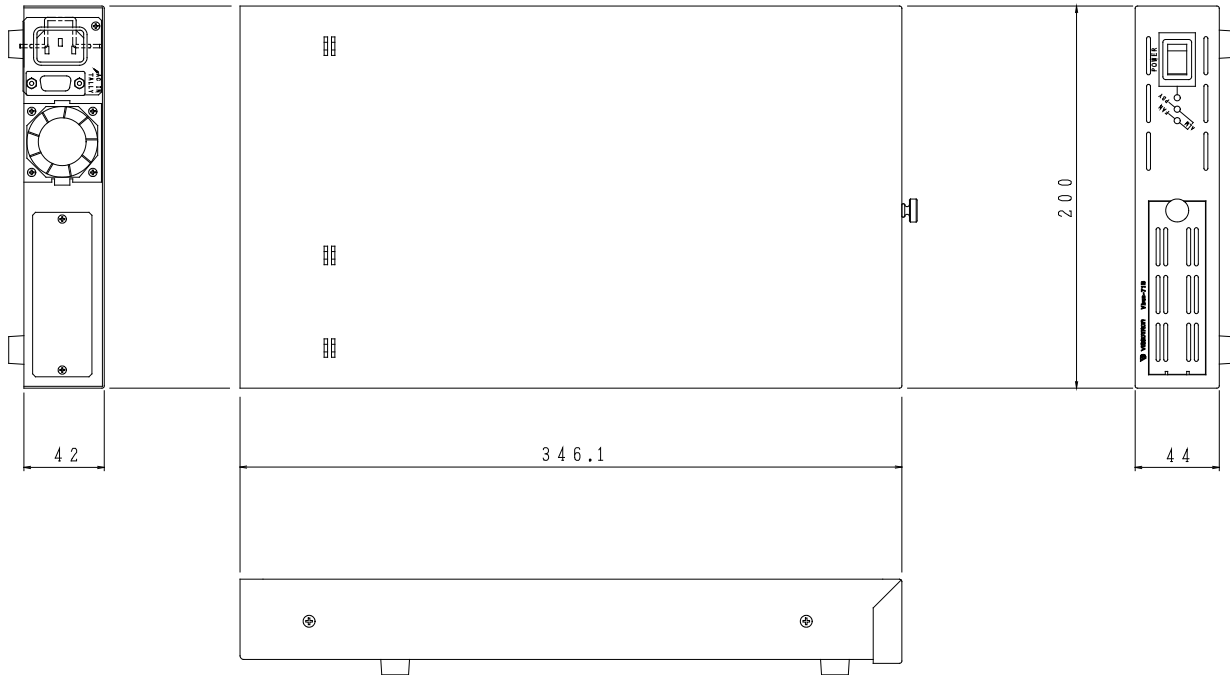
## 8. 仕様

### 1.Vbus-70B



- ◇最大実装モジュール数 10 枚
- ◇最大消費電力 195VA
- ◇内部供給電力 142.5VA
- ◇動作温度 0～40℃
- ◇動作湿度 20～80%RH(ただし、結露無き事)
- ◇電源条件電圧 AC 90～240V
- ◇外形寸法／質量 434W×88H×345.1D/6kg

## 2.Vbus-71B



◇最大実装モジュール数 1枚

◇最大消費電力 32.5VA

◇内部供給電力 20.5VA

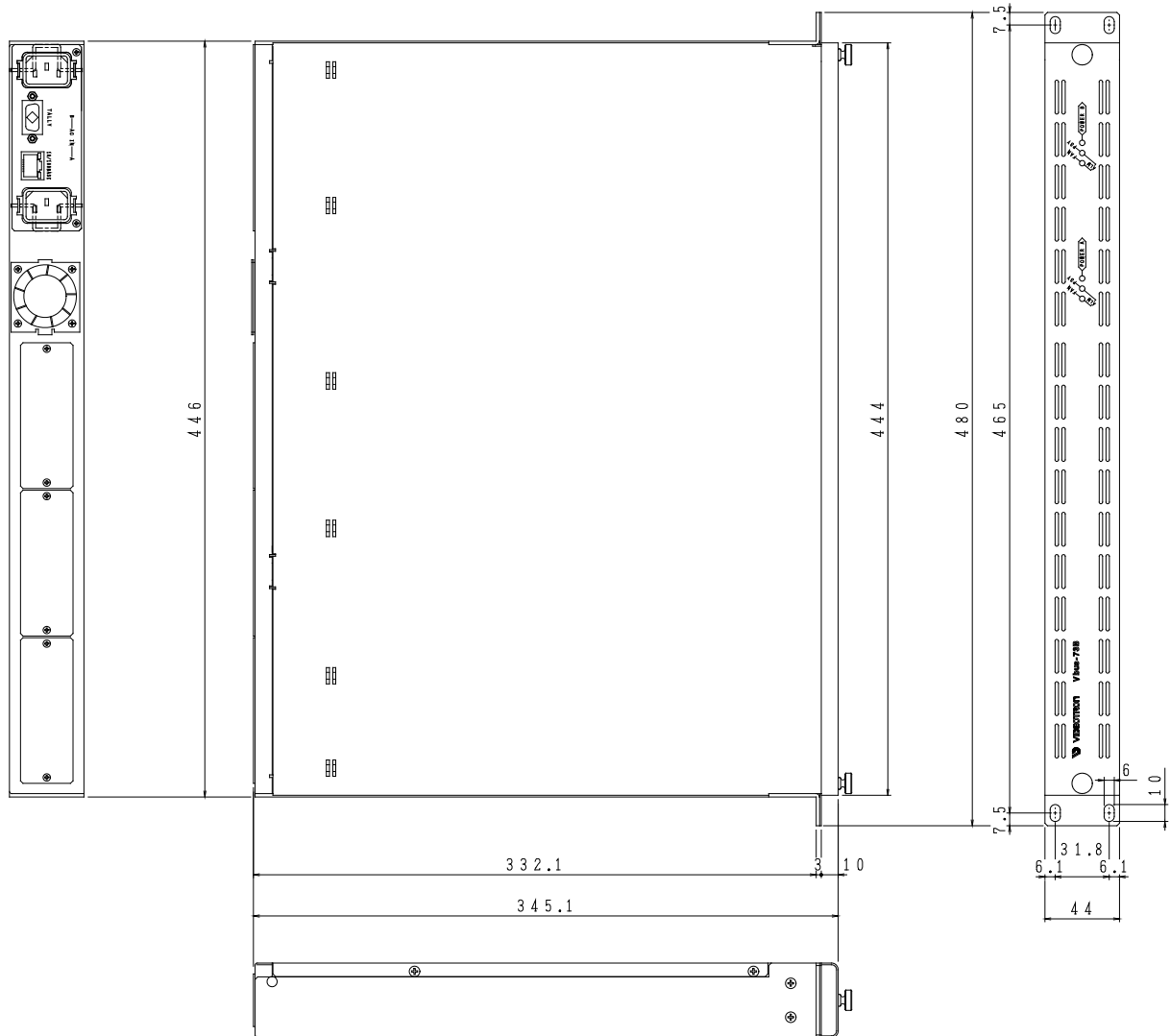
◇動作温度 0~40℃

◇動作湿度 20~80%RH(ただし、結露無き事)

◇電源条件電圧 AC 90~240V

◇外形寸法/質量 200W×44H×346.1D/2.5kg

### 3.Vbus-73B



◇最大実装モジュール数 3枚

◇最大消費電力 65VA(オプションの Vbus-73B-03 使用時は 97.5VA です。)

◇内部供給電力 45.5VA(オプションの Vbus-73B-03 使用時は 70.5VA です。)

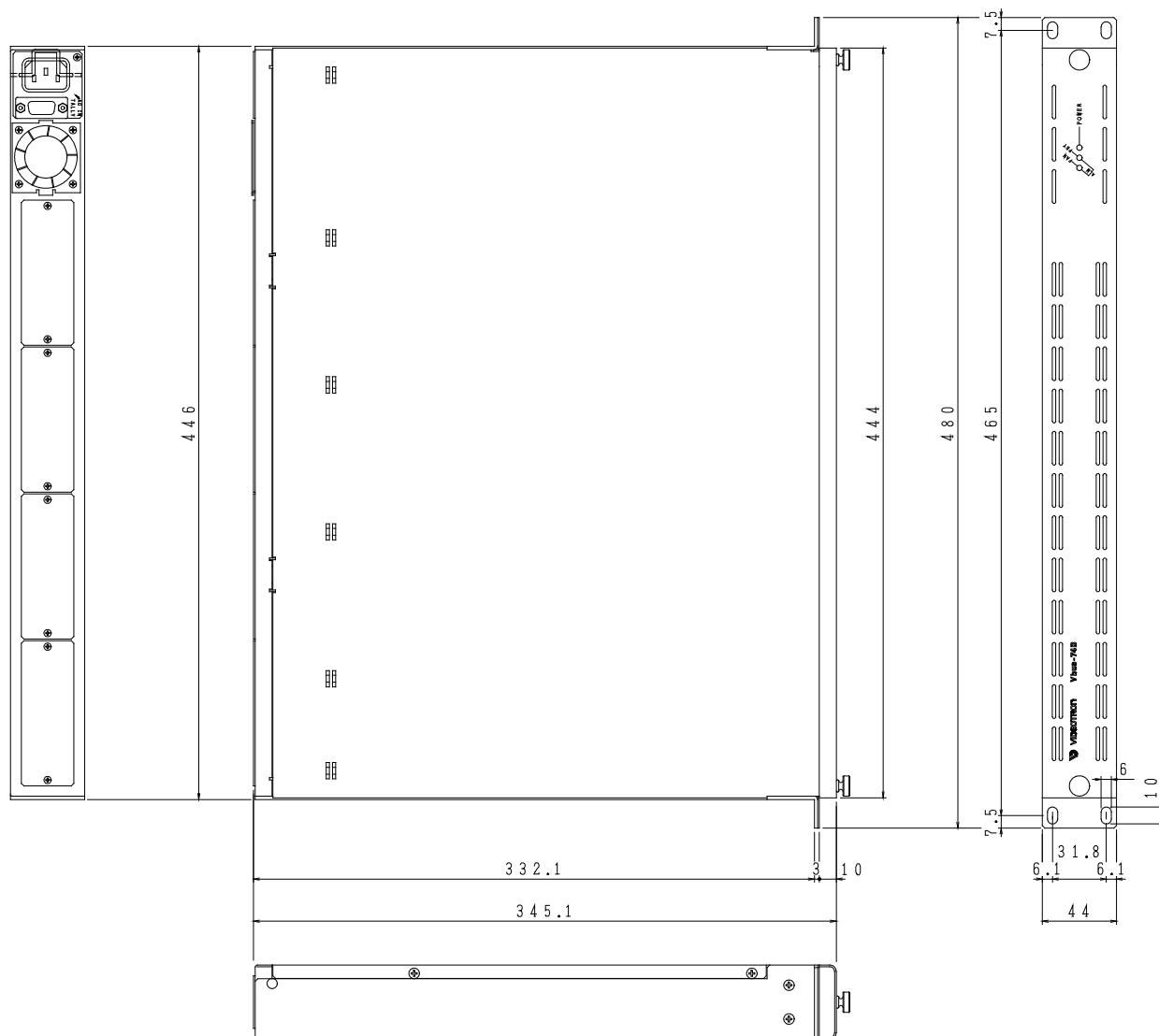
◇動作温度 0~40℃

◇動作湿度 20~80%RH(ただし、結露無き事)

◇電源条件電圧 AC 90~132V/AC 90~240V(オプション)

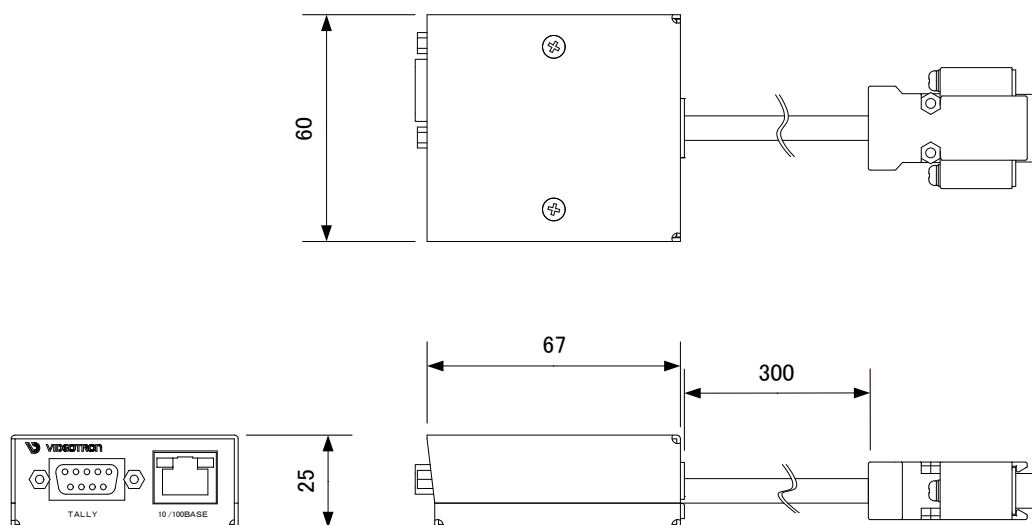
◇外形寸法/質量 444W×44H×345.1D/5kg

#### 4.Vbus-74B



- ◇最大実装モジュール数 4 枚
- ◇最大消費電力 97.5VA
- ◇内部供給電力 70.5VA
- ◇動作温度 0~40℃
- ◇動作湿度 20~80%RH(ただし、結露無き事)
- ◇電源条件電圧 AC 90~132V/AC 90~240V(オプション)
- ◇外形寸法/質量 444W×44H×345.1D/5kg

## 5.Vbus-SNMP-02 Vbus 用 SNMP オプション 外付け BOX



・適応筐体 Vbus-71B、71BDC、74B、74BDC

◇動作温度 0～40℃

◇動作湿度 20～80%RH(ただし、結露無き事)

◇電源 Vbus 筐体より供給

◇外形寸法／質量 60W × 25H × 67D/0.2kg

◇ケーブル長 300mm



御使用各位 殿

## ビデオトロン株式会社

製造技術部

### 緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

#### 記

##### ◎営業日の連絡先

**ビデオトロン株式会社** 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

##### ◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオtron株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。